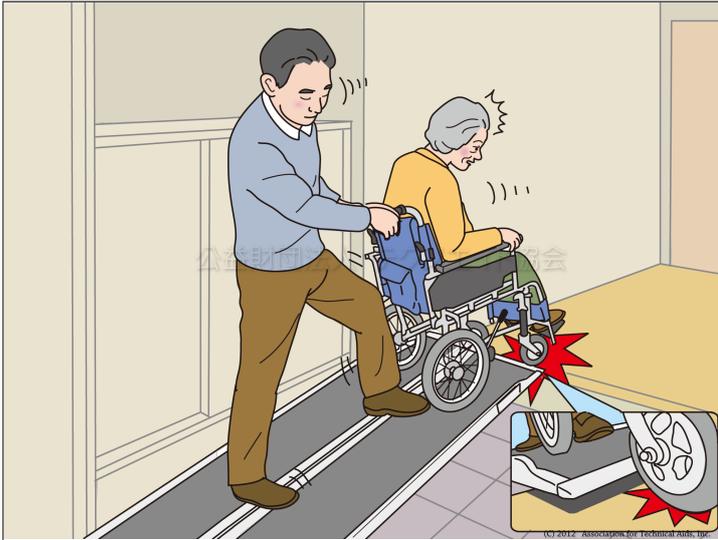


Case : 219

上下を間違えて設置したことにより、キャストが引っかかってしまう

場面の説明

スロープを使って階段を下りようとしたが、スロープの設置を上下逆さまにしていたため、車いすのキャストが引っかかってしまった



利用シーン	 移動  階段の昇り降り  外出
主な利用場所	 階段  玄関  段差・縁石
介護保険の種目	 スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

ほとんどの製品では、スロープの上端、下端の指定があり、スロープに乗り込み易い工夫が施されています。特にキャストは小径のため段差の影響を受け引っかかり易いので、上下を正しく設置するよう注意しましょう。スロープに適切な表示がなくわかりにくい場合もありますので、シールなどでわかり易く表示しておくことも、うっかりミスを防ぐポイントとなります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：よく確認せずにスロープを設置した
- 人：そもそも上下を間違えて認識していた
- 人：上下があるスロープと知らされていなかった
- モノ：上下がわかりにくい構造だった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 219

上下を間違えて設置したことにより、キャストが引っかかってしまう

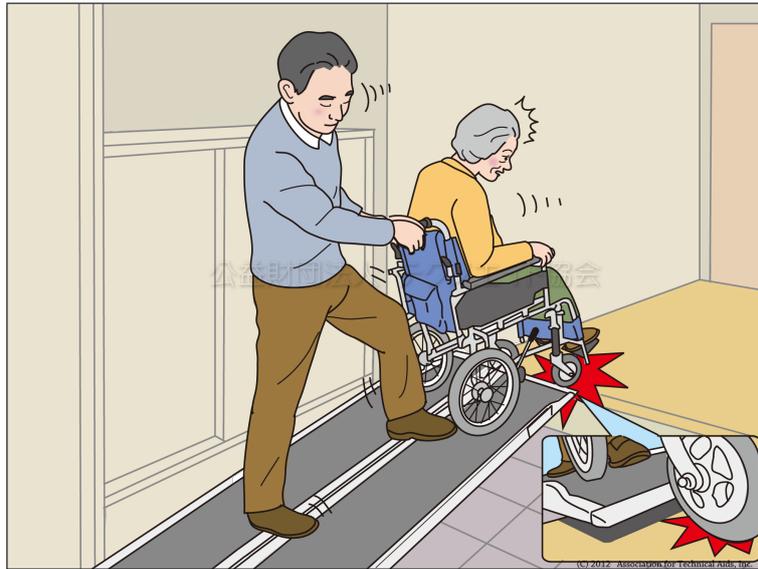
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

スロープを使って階段を下りようとしたが、スロープの設置を上下逆さまにしていたため、車いすのキャストが引っかかってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ